

都市再生整備計画 事後評価シート  
成田駅周辺地区

平成31年4月

千葉県成田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	千葉県	市町村名	成田市	地区名	成田駅周辺地区			面積	133.0ha			
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	1,181.5百万	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路事業：市道並木町土屋線歩道整備事業</li> <li>地域生活基盤施設(人工地盤)：人工地盤整備事業</li> <li>地域生活基盤施設(情報板)：観光案内看板設置事業</li> <li>高質空間形成施設(緑化施設等)：ポラード石・インターロッキング設置事業</li> <li>高質空間形成施設(緑化施設等)：ベンチ・インターロッキング・装飾街路灯等設置事業</li> <li>高質空間形成施設(歩行支援施設)：エレベーター・エスカレーター設置事業</li> </ul>									
		提案事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域創造支援事業：伝統的建築物等修景整備補助事業</li> <li>地域創造支援事業：ファサード整備補助事業</li> <li>まちづくり活動推進事業：街づくり団体補助金</li> </ul>									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設：架空線地中化事業	事業内容の見直しによる事業の削除。		影響なし						
		提案事業	-	-		-						
	新たに追加した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設(広場)：ポケットパーク整備事業</li> <li>高質空間形成施設(緑化施設等)：市道並木町土屋線石畳舗装事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅および周辺利用者の利便性を向上させるため、事業を追加。</li> <li>表参道における景観整備のため、事業を追加。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>影響なし</li> <li>影響なし</li> </ul>						
		提案事業	-	-		-						
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
変更	-	-	-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値	目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
	指標1	観光入込客数	(千人/年)	10,935	H24	12,100	H30	13,622	○			あり
	指標2	駅前における歩行環境満足度	(%)	14	H25	75	H30	60	△			あり
	指標3	地区への愛着度	(%)	39	H25	50	H30	53	○			あり
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1											
4)定性的な効果発現状況	なし											
5)実施過程の評価	モニタリング	実施内容	実施状況									今後の対応方針等
	住民参加プロセス	表参道の景観舗装事業に伴い、説明会を実施した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>									-
	持続的なまちづくり体制の構築	表参道街づくり連絡協議会を開催した。	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>									●
				<ul style="list-style-type: none"> <li>都市再生整備計画に記載し、実施できた</li> <li>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した</li> <li>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった</li> </ul>								

## 様式2-2 地区の概要

成田駅周辺地区 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：成田の歴史資源を大切にしたい、観光と住環境が魅力的なまちづくり ○目標①：国際観光都市成田の表玄関として、魅力ある、おもてなしの心を大切にしたい空間の創出を目指す。 ○目標②：歩行者の利便性向上を図り、快適で質の高い都市空間の形成を目指す。 ○目標③：門前町の歴史資源を大切にしたい、住民にとって誇りや愛着が持てるまちなみ景観の形成を目指す。		観光入込客数	単位：千人/年	10,935	H24	12,100	H30	13,622	H30
		駅前における歩行環境満足度	単位：%	14	H25	75	H30	60	H30
		地区への愛着度	単位：%	39	H25	50	H30	53	H30

  

**高質空間形成施設 市道並木町土屋線**

《路面の石畳風舗装》



《インターロッキングブロック舗装》



**地域生活基盤施設（広場）**

《ポケットパーク》



**高質空間形成施設（歩行支援施設）**

《エレベーター設置》





□「地域創造支援事業」提案／伝統的建築物等修景整備補助事業

■「高質空間形成施設」基幹／緑化施設等

■「道路」基幹／並木町土屋線歩道整備事業  
■「高質空間形成施設」基幹／緑化施設等

□「地域創造支援事業」提案／ファサード整備補助事業

■「地域生活基盤施設」基幹／広場

■「高質空間形成施設」基幹／歩行支援施設

■「地域生活基盤施設」基幹／情報板

○関連事業／JR成田駅東口第二種市街地再開発事業

凡 例  
■ 基幹事業  
□ 提案事業  
○ 関連事業

**道路（市道並木町土屋線）**



セツバック2m

**JR成田駅東口第二種市街地再開発事業**

《JR成田駅前広場》



《JR成田駅前再開発ビル》



  

まちの課題の変化	<p>○駅から表参道まで、安心して楽しく回遊できる歩行空間の形成が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>京成成田駅参道口における情報板の設置や、表参道におけるセツバックや車止めの設置により、安心して楽しく回遊できる歩行空間が形成された。</li> <li>今後も整備された街並みの適切な維持管理に努め、地域におけるまちづくりを継続的に支援していく必要がある。</li> </ul> <p>○都市型居住への対応として、駅周辺の歩行者利便性の向上が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場の整備や、京成成田駅東口のエレベーターやエスカレーター、車いす用リフトの設置により、駅周辺における歩行者利便性が向上した。</li> <li>今後も駅周辺の歩行環境の整備を推進し、駅前空間のにぎわいの創出や都市機能の充実を図ることで、駅周辺の利便性・快適性の向上を図る必要がある。</li> </ul> <p>○地区内の住民が誇りや愛着を持てるまちづくりの推進が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表参道における石畳風舗装や、ファサード統一を図るための修景費補助、街づくり団体の運営費補助などにより、住民が誇りや愛着を持てるまちなみ景観づくりが推進された。</li> <li>今後も地区内の住民が誇りを持つことができ、訪れる観光客が魅力を感じることで、門前町の歴史資源を大切にしたいまちづくりを推進していく必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策（改善策を含む）	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備された街並み景観や歩道空間の適切な維持管理が、地元街づくり協議会を中心とした地域で行われるよう支援を図り、愛着を醸成する。</li> <li>駅周辺地区における利便性向上のため、土地の高度利用を推進し、にぎわいの創出や都市機能の充実など駅前にふさわしい施設を整備する。</li> <li>駅周辺地区における快適性向上のため、バリアフリー化を進め、子どもから高齢者まで安全・快適に利用できる駅前空間を創出する。</li> <li>国際性豊かな観光立市の実現に向け、門前町の風情のある街並みをはじめとする地域特性を活かした観光拠点施設の整備を行う。</li> </ul>